科目名 Subject	日本語総合Ⅰ General JapaneseⅠ		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	この授業は書くスキルの向上め目指し、レポートが書けるようになることがこの授業の狙いです。助詞の使い方とその意味、文体や書き言葉と話言葉の区別、要点の整理、レポート作成の手順、基本段落の作り方、書式、引用の仕方、資料の利用の仕方などレポート作成の基礎知識を習得することができます。				
授業の目標	レベル３のレポートが書くことができる。そのための基本的知識とスキルの修得することができる。作文はできるだけ漢字も使い、それをパソコン入力し提出して添削したものを覚えることで、作文する力をつけることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	ライティングで書く内容については、授業の前に考えて情報を集めておく準備が必要です。そのためにテレビ、新聞などで情報集めに90分以上はかけてください。授業後も復習として90分から120分かけて、授業で得たこと学んでことを定着させて確認してください。そうすることでさらなる高度な文章ができるようになるので自分にかけた時間に期待が持てるよう努力を望みます。				
教科書・教材	教科書	留学生のためのここが大切文章表現　スリーエーネットワーク			
	教材				
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	平常の授業への準備の質の高さ、授業での参画意欲の高さ、プロダクションの質の高さに50%、期末試験での評価に50%で総合評価し８０以上をA,70から79をB,60から69をC、59以下は不可とします。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	日常の出来事や社会の問題などに興味を持ち、テーマとなりそうなことをメモししらべておくこと				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	文章表現の基礎知識１	日本語の文章の基礎的な助詞、言葉の使い分け、受身表現の意味が修得することができる	間違い安かったり疑問に思っていた助詞などへの質問をメモしておくこと
第２回	文章表現の基礎知識２	受身表現の意味と日本語の文章、特に文末表現の理解をすることができ、使うことができる	間違いやすい「思う」と「思っている」の違いを自分自身で整理しておく。さらに「思われる」も調べておく
第３回	文字・表記の基礎知識１	作文のひらがな表記と漢字表記バランスが理解でき、使うことができる。	ひらがなばかりの文は読む人にどんな印象を与えるか考え、意見をまとめておく
第４回	文字・表記の基礎知識２	パソコンで文章を入力するときの注意がわかる。句読連の打ち方も理解でき、使うことができる	漢字の変換のミスはどんな意味になるか考えてメモする。またPCの誤変換で意味が違う文になることも考えメモしておく
第５回	語彙や意味の基礎知識１	書き言葉らしさや辞書の使いすぎについて理解することができる	日本語の書き言葉と話言葉に使われる語彙について例を考えてメモしておく
第６回	語彙や意味の基礎知識２	あまり辞書に頼らず文章を書くことができる	辞書を使ういい例と悪い例を考えて自分の意見をまとめ、発言できるようにしておく
第７回	語彙や意味の基礎知識３	自分の母国語の表現や意味と日本語の違いを理解し修得することができる。	「熱い水→お湯」のような違いの例をたくさんメモして、その使い方の注意も考えてまとめでおく
第８回	語彙や意味の違い基礎知識	新聞などに出てくる少しかたい語彙の認知と使い方を習得することができる	復習を中心に専門的な語彙と表現を使い方も含め復習しておく
第９回	文章と談話の表現	文の長さと読みやすさを習得することができる	予習と復習でふらがな文、句読点なし文など読みにくい文を比較してよく覚えて使うことができ
第１０回	指示語による文の接続	文と文をつなぐ指示語で文が日本語らしくすることができる	予習と復習で日本語らしさを出すポイントを理解することができ、使うことができる
第１１回	指示詞と文章の構成	指示詞で文章の起承転結を表すことができる	文の展開について、自分のいままでに書いた作文で起承転結を実際にやってみる
第１２回	読み手への配慮を考える	言葉の不足と重複を避けて表現することができる	読む人がわからない、もらった文の意味が通じなかったような経験の原因を考えておく
第１３回	テーマ作文	学んだことを実際に活かした文章を書いてみる	先生からだされたテーマについて800字くらいの文章を書く準備をしておく。
第１４回	テーマ作文　フィードバックと自由作文	前回のテーマ作文のフィードバックで間違いの認知をすることができる	復習で忘れていたポイントやよく理解できなかったことを確認する
第１５回	15回の総まとめと試験対策	まとめと期末試験対策	この授業で最高の評価を先生にしてもらえるよう完璧は準備を試験に臨むこと